



スターチスの生産安定に向けた支援



「総合技術普及センター」

甲府市では、昭和61年に新たな花きの品目としてスターチスを導入して以来、小瀬地域を中心に生産が行われており、3月出荷の早だし産地として市場でも高い評価を得ています。

3月出荷の作型では、開花を早めるため定植前に約60日間の苗冷蔵処理を行なっています。しかし、処理中に根傷みが発生し苗品質が安定しないなどのリスクが伴います。これらのリスクを回避するため、総合農業技術センターでは冷蔵期間を短縮する方法について検討を行いました。

その結果、入庫する前に苗をひとまわり大きくしておくことによって短時間でも十分低温感応することが確認され、冷蔵処理期間を40日間に短縮することが実証されました。この冷蔵期間短縮技術の導入により、揃いが良く安定した品質の苗が供給可能となり、より品質の高い切り花生産につながっています。

今後は新品種の導入や販路の拡大に向けた取組みを通じて、甲府市のスターチス産地の維持発展に向けた支援を行なっていく予定です。



耕作放棄地となっている農振農用地区域内の農地を農業者等が借り受けて耕作を開始する場合、草刈りなどの再生作業に対し、10a当たり3万円又は5万円の支援を受けることができます。この他にもハウスの整備など様々な支援が用意されていますので、詳しくは各市町村の耕作放棄地対策協議会事務局または最寄りの県農務事務所へご相談下さい。

Yamanashi Prefectural Agricultural Academy

生産から流通・販売まで アグリビジネスの実際を学ぶ

平成22年度 学生募集

専門学校
山梨県立農業大学校

●養成科[果樹学科・園芸学科] ●専攻科[落葉果樹学科]

〒408-0021 山梨県北杜市長坂町長坂上条3251 TEL.0551-32-2269 FAX.0551-32-2034

詳しくはホームページをご覧ください。
<http://www.ypa.ac.jp/>